

年頭のごあいさつ

CONTENTS

- 年頭のごあいさつ 2
- 秋季大会特集 3
- LS研究委員会 6
- 講演録 10
プロランニングコーチ
駅伝、マラソン解説者
金 哲彦 氏
- 講演録 12
俳優
石丸 謙二郎 氏
- HUMAN HUMAN 14
公益財団法人笹川スポーツ財団特別研究員
東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会ボランティア検討委員
西川 千春 氏
- Family's Information 15
- クロスワードパズル 17
- 支部見聞録(東海支部) 18
From 静岡

Family 2020 392号



表紙のこぼれ (こどもとスポーツ)

42.195kmの公道コースを使った陸上競技の長距離走。花形スポーツであるマラソンは、いつの時代も観る者を魅了し、記憶に残る名勝負が生まれます。2020年8月には、北海道・札幌市街を世界のトップランナーが走り抜けます。最近では、「ハッカソン」や「アイデアソン」など、長時間にわたる達成感の強い仕事の例えとしても使われています。



2020年 新年のご挨拶

FUJITSUファミリー会 会長
JXアイティソリューション株式会社 内田 悟

あけましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。2020年が皆様にとって、より素晴らしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和元年は、新天皇のご即位など国を挙げたお祝いがあった一方で、台風15号、19号などの大規模自然災害による被害に見舞われた年でもありました。被害に遭われた皆様ならびにご家族、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

FUJITSUファミリー会は、ICT業界における日本最大規模のユーザー団体です。私が会長に就任したときから申し上げておりますのは、「数」は組織における力の源泉であるということです。皆様のご尽力のおかげで、この3年間で400会員ほど増加し、昨年度念願の4,000会員を突破し、現在約4,250会員ほどまで来ております。秋季大会も毎年皆様が参加したいという企画を揃え、昨

年の福岡大会では延べ2,172名と、過去最高のご参加をいただいております。またグローバル人材の育成にも力を入れてきており、年2回の海外セミナーも定員を超える会員の皆様にご応募いただいております。このように数字に成果が表れてきたのも、会員の皆様、富士通関係者の皆様のご協力、ご支援のおかげであり、改めて感謝を申し上げます。

2020年の行事活動においては、北海道から沖縄までの11支部とLS研究委員会が、ICT情報の提供はもとより、会員相互の情報交換や会員企業の人財育成など、皆様にお役にいただける魅力ある活動を行ってまいります。年間約500のイベントを行い、3万人ほどの方々にご参加いただく予定です。

会員の皆様には、これまで以上にファミリー会の場を大いに活用いただくとともに、2020年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2020 会報Family新年ご挨拶

富士通株式会社 代表取締役社長 時田 隆仁

新年おめでとうございます。会員の皆様には、日頃より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、よりよい一年となりますことを心から祈念いたします。

ファミリー会は、昨年も多くの新たな会員様をお迎えし、4,250社を超えました。また福岡で行われた秋季大会も、過去最多の方にご参加いただき大変な盛会でした。内田会長ならびに関係の皆様のご尽力のもと会が発展していく姿を喜ばしく思います。

今、「デジタルテクノロジーを活用して新たな価値を生み出したい」という機運が、世界中のあらゆる業種のお客様において高まっているのを実感しています。また、気候変動や変化する世界情勢など経営環境の不確実性が増す中で、リスクへの対処においても技術の活用に関心が高

寄せられています。私たちテクノロジー企業には、経営のパートナーとして、あるいは社会インフラの担い手として、これまで以上の活躍が期待されていると感じております。

私は社長就任に当たり、「富士通はIT企業からDX企業に変わります」と宣言しました。私たちは、お客様とともに社会に価値を届けることができる企業でありつづけることを目指しています。そのためには、自らのDXを成し遂げること、そしてお客様のDXのパートナーとして選ばれる存在になること、その両方を追求してまいります。

2020年もファミリー会の皆様と連携を深め、ともに成長し、お客様や社会にとっての新たな価値を生み出してまいりたく存じます。

何卒、倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

FUJITSUファミリー会 2019年度 秋季大会

2019年11月14日(木)・15日(金)
ヒルトン福岡シーホーク・
JR九州ホール・JR博多シティ大会議室



2019年秋季大会は、11月14日～15日の2日間、全国から延べ2,200人の会員や関係者が集まり、福岡県福岡市で開催されました。冒頭のウエルカムイベントでは、博多にわか五月会による「博多にわか」が披露され、福岡市の指定無形民俗文化財であり、古くから博多に伝わる笑いの伝統芸能で、会場は笑いの渦に包まれました。

内田悟会長は、全国で発生した大規



模自然災害の被災者へのお見舞いとともに、「活動内容の一層の充実が“数は組織の力の源泉”と言い続けてきた成果に結び付いてきた。長きにわたり、活動を引き継いでこられたことに感謝を覚える」と挨拶。来賓の福岡県大曲昭恵副知事からの歓迎の祝辞に続き、富士通の時田隆仁社長は、「これまでの仕組みや取り組みを良い方向に変えて、お客様と一緒に、社会に役立つ、日本を元気にするパートナーになれるよう変わっていきたい。先頭に立って頑張っていきたい」と述べられました。

続いて特別講演、記念講演、3つのセッション、新設された「リーダー層向け研修」を開催。懇親会では和やかな雰囲気の中、会員同士が歓談し、次の開催地・東北での再会が呼びかけられました。



FUJITSU
ファミリー会
会長
内田 悟氏



福岡県副知事
大曲 昭恵氏



富士通株式会社
代表取締役社長
時田 隆仁氏

司 会



フリーアナウンサー
陸門 薫氏



FUJITSUファミリー会
常任理事
大林 孝至氏

福岡ウエルカムイベント

「博多にわか」 演者：博多にわか五月会（博多仁和加振興会所属）



「ぼてかずら」に「にわか面」と言われる半面を着け、博多弁を使い、会話の最後に面白いオチを付けてまとめる。世相を反映させたユーモラスな即興笑劇。



プロランニングコーチ、
駅伝・マラソン解説者
金 哲彦 氏

特別講演

「病気かもしれないが健康でもある」

箱根駅伝とマラソンの選手として活躍され、現在はプロランニングコーチ、マラソン・駅伝での解説、さらには、昨年放映されたNHK大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺』でマラソン指導も担当された金さんから、走ることの喜びと健康についてお話しいただいた。

ご参加者の声

ランニングにはダイエットや体力増強の他に様々な効果があると聞き、試してみようかと思えます。腕等の抗重力筋を使うことによりセロトニンが分泌され、幸福感を感じスッキリしてストレス解消。また、ランニング中の段差等の危険判断に、脳の前頭前野を使うため頭も良くなるそうです。



俳優
石丸 謙二郎 氏

記念講演

「各駅役者の旅」 ― 豊の国への想いと我が俳優人生 ―

映画、ドラマ、舞台など、マルチにご活躍中の石丸謙二郎さん。本講演では、俳優業への想いや故郷「大分県」の魅力と、石丸さんの代名詞とも言えるテレビ番組「世界の車窓から」におけるナレーション秘話をお話しいただいた。

ご参加者の声

「世界の車窓から」のナレーションを30年以上続けている石丸さんですが、一方で常に新しいことにチャレンジして極めていくというお話に感銘を受けました。現在チャレンジ中のピアノの調べを懇親会後のロビーで拝聴しました。



太宰府天満宮 権宮司、
文化研究所主管学芸員
味酒 安則 氏

セッション1

「古代大宰府の歴史と文化」 ― 令和を迎えて ―

大宰府は、九州の統轄、外交、辺境防衛の任を担って設置され、520年間その位置を変えることなく君臨している。その大宰府は、大陸文化を受け入れる「窓」だった。今、太宰府に新たな風が吹いた。新元号「令和」である。古代大宰府から、令和までの歴史と文化について語っていただいた。

ご参加者の声

講師は、菅原道真の門弟、味酒安行から数えて43代目の子孫。話は、古代建築の話、食文化の話、そして新元号「令和」へと進んだ。古代の神秘的な話は、今日の日本に通じるところがたくさんあり興味深かった。



株式会社マルハン
情報システム部 チーフ
水江 文暁 氏
株式会社トヨタシステムズ
コーポレートIT本部
生産物流システム部
部品物流G 主任
内藤 繁貴 氏

セッション2

2018年度LS研究委員会 研究分科会最優秀賞受賞グループ 「ブロックチェーンを活用したシステムの設計開発手法の研究 ―ガイドラインでビジネス革新! 商用化への道―」

ブロックチェーンは様々な分野での活用が期待されている一方で、ブロックチェーンを活用したシステムの商用化は進んでない。この現状を打破するため、商用化を想定した業務モデルのプロトタイプ開発を通じて、企画・開発・運用の工程を網羅的に実践した。その1年にわたる研究の概要と成果を発表いただいた。

ご参加者の声

難解なイメージのあるブロックチェーンですが、企画・開発・運用のすべての工程で利用できるガイドラインを作成されたので、導入のハードルがかなり下がったと感じました。与えられたテーマは「設計・開発手法の研究」でしたが、自主的に企画や運用にまでスコープを広げたという力作でした。



ウェルネスサポート
代表
佐藤 昌久 氏

セッション3

「笑う健康経営®」 ― ココロとカラダの筋力アップ ―

糸口の見えないストレス対策を、健康経営®のティーチング&コーチングで具現化し、労働生産性を上げる。そのカギは、有名経営者も絶賛した“二刀流大谷マンガラ”で大注目の「目標達成原田メソッド」による備え。職場の風通しをよくするコミュニケーションのヒントを満載し、ビジネスシーンでのノウハウをお話しいただいた。

ご参加者の声

労働生産性向上でもメンタルヘルスは重要で、ポイントは「メンタルが落ち込む前」のセルフケア、ということで実践方法をミニ体験しました。大谷翔平選手が高校時代に実践していたメソッドとのこと。セルフケアの重要性を再認識したセッションでした。



人財教育家・
メンタルコーチ
飯山 暁朗 氏

リーダー層向け研修

「最強プラス思考チームのつくり方」

凡人も天才も皆、脳の仕組みは同じ。この脳の仕組みを理解し、脳を活用できるかどうか凡人と天才を分ける差になっていると言っても過言ではない。脳の仕組みと機能を知り、プラス思考になるための脳の使い方を解説いただいた。また、やる気がないときの気持ちの上げ方や逆境に強い心を作る方法など、あきらめにくいメンタル作りについてもお話しいただいた。

懇親会



今年も会員同士の交流の場として盛り上がった



地酒が並び横で、とんこつラーメンが振る舞われた



乾杯

福田理事による
乾杯のご挨拶



大会旗リレー

九州支部 仮屋支部長から、
東北支部 小野木支部長へ



中締め

仮屋支部長と九州支部幹部
の皆様

オプション行事

全コース共通：金 哲彦のランニング教室（福岡市大濠公園）

●セミナーまたは研修&交流行事（半日見学コース）

- I 「5Gで加速するDX（デジタルトランスフォーメーション）」
- II 「地域課題解決をテーマとしたオープンイノベーションの取り組み」

研修

マネジメント層向けワークショップ「変革のための第一歩」
ーDX推進xデザイン思考ー

交流行事

- A 令和ゆかりの地を巡る 太宰府天満宮&坂本八幡宮参拝
- B 世界文化遺産「宗像大社」^{むなかたたいしゃ}神宝館と宮地獄神社

●交流行事（1日見学コース）

交流行事

- C 最先端とレトロに触れるロボット製造工場見学と門司港
- D 大分のワイナリー探訪と日本新三景「耶馬溪」^{やばけい}
- E 日本三大松原や神秘的の洞窟へ 呼子と佐賀の紅葉めぐり
- F 九州新幹線で行く熊本城と大自然を満喫
- Golf 懇親ゴルフ会

